

2年生学年だよ

平成31 (2019)年4月9日
第 4 号
吹田市立第二中学校第二学年

人間、完璧な人なんていません。誰にだって苦手なことや弱点があります。また何かに傷つき自分ではなかなか元気が出ないときもあります。そんなとき声をかけてくれる「友」がいれば、それを乗り越えていけることも少なくありません。もう1度、「班」について確認しましょう。

「班」ってなんのため？



「班」って何のために作るんやろ？



「助け合い、教え合いのため」だと思います。
授業で友達ができないところを教えるとか。



うん、間違いじゃないけど、もう少し考えてほしいな。
「数学苦手やなあ。班の〇〇君に答えを教えてもらおう。」
「私は整理整頓が苦手。だから〇〇ちゃんがやってくれるねん！」

一見、つながっているように見えるけど、これでは個人が成長しないよね。班が「もたれあい集団」になってはだめやで。
わからないことを「わからん」と安心していえる雰囲気は大事。
でも、まずは苦手なことに対して個人個人がしっかりと頑張る。
それでもできないことは班の人が少し支えてあげる。
こうすれば個人個人が成長していけるよね。

なるほどー。私は「バラバラな考えをまとめるため」
だと思うのですが、どうですか？



うん、班で話し合って意見をまとめていくことは大事だね。
でも個性は大事。自分の考えを遠慮せずにはっきり伝えることは
忘れたらあかんで。
うどんが好きな人もいればカレーが好きな人もおる。
まわりに無理にあわせて自分にフタをせんようにな。
それぞれが意見を言い、お互いに聞く耳をもち、ベストな答えを
さぐっていけば個人個人が成長していけるやんな。



何のためやろなー。

もし隣に勉強が苦手なやる気を失っている人がいたとする。
後ろの席に暗い表情で、何か元気がない人がいたとする。
隣にスマホやゲームにはまりすぎている人がいたとする。
前の席に誰かの陰口を言ったり、いじめに近いことをしている人が
いたとする。

君ならどうする？

で、先生、結局、「班」って何のためですか？



んー、仲のいい人やったら声かけるかなあ。



やんな。もし班がなければ、普段から仲の良い人にしか声をかけへん
かもしれへん。そのメンバーはいつも固定で2、3人くらいかな。
そんなクラスより、あっちこっちにネットワークが伸びて、声掛けが
しあえるクラスの方が素敵なクラスになると思わへん？
その方が個人も成長できるんちゃうかな？

そもそも周りの友だちがさっき言ったような状態であることに気付か
んかったら声掛けも当然うまれへんよね。
だから大事なことは「班」のメンバーに興味・関心をもつこと。
まず「ご趣味は？」と聞いてみてください！（笑）

先生、班長って何に気を付けたらいいんですか？



決して班長さんが他の班員より偉いということはないよね。
ただ、班長さんは先生では気づけないような班員のつぶやきや変化を敏感にキャ
ッチし、みんなが明るく安心して毎日が過ごせるように心を配ってあげてほしい
です。

なんのために班があるのか少しわかったかな？
班員同士つながるなかで、個人個人も磨いていけるといいね。



1. 班活動の決まり

- ①班は4～5人で、原則として男女混合、全部で9班とする。
- ②各教科の授業や、道徳、特活、総合的な学習の中で、班で学習する場合もある。
- ③班は、週直を輪番で担当する。週直になったら1人1つ（or2つ）の仕事をする。
- ④班は、掃除当番を担当する。
- ⑤班は原則として最低9週間（週直が1周するまで）は変わりません。

2. 班の仕事

それぞれの係が責任を持って自分の仕事をしよう。

「係じゃないからしない」というのでは集団生活はうまく回りません。

また係の人が出来ていないことに気づいたら「やっつけよ」ではなく、「やっといたで」と言える、そんなあったかい言葉や行動をかけられるような集団になっていきましょう。

①週直（日直）

班長	終礼時の司会を大きな声で元気よく行います。
黒板消し	毎時間黒板をキレイに消します。帰りも消すのを忘れずに。 休み時間の間に、必ず黒板をきれいにしておこう。
学級日誌	学級日誌を毎日丁寧に書きます。遅刻や欠席もきちんと書きましょう。
とじまり	教室移動時の消灯・戸締まりと鍵の管理をします。
連絡	翌日の連絡事項が職員室前廊下の2年生入口付近に書いてあるので、それを連絡ボードに転記します。転記した連絡ボードは教室前方の黒板にはります。
配布	配布物を職員室前のBOXまで取りに行き、教室で配ります。 配布物が多い場合もあるので手が空いている人は積極的にヘルプしましょう。

②掃除担当

班ごとに教室や特別割り当て区域を担当します。遅刻やサボりがないように班員同士で積極的に声をかけましょう！

3. 班（一座席）は班長会議で決めます

座席については班長会議で決めます。手順は以下の通りです。

- （1）班長を決めます。立候補で9人。
- （2）新しい班（一座席）を決める前に、たとえば①、②のような課題や配慮すべきことについて班長を中心に確認します。
 - ①自分の力で身の回りのことをきちんとやるのが難しい人
 - ②近くの席だとしゃべったり遊んだりしてしまう人
- （3）（2）であげたような課題がクリアされるように、班長会議にて最終的な座席を決定します。班長会議には代議員、班長、担任が参加します。
班長会議で話しあった内容は決して外ではしゃべらないというルールですので絶対に守ってください。
前回と同じ席になってしまうなどの場合もあるが、それは仕方のないことなので変更はしません。

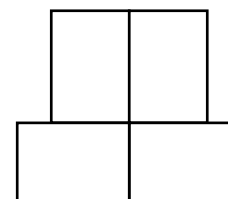
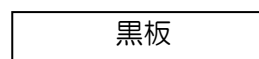
4. 終礼の仕方

- （1）週直や班長を中心にみんなが声かけをして、全員が①着席、②静か、③机の上はセルフノートのみ、という状態を作ります。（かばんは床におろす）
- （2）終礼を始めます
- （3）教科係からの連絡（時間割・宿題・持ち物等）
- （4）係や委員会からの連絡
- （5）本日の配布物確認（連絡袋に入れていく）
- （6）一日を振り返って
- （7）セルフノートのチェック
- （8）先生からのお話

5. 班活動の行い方（※例外もあります。まずは授業者の指示に従うこと。）

班隊形のつくり方

4人班



※きちんと机をくっつけること

班の形で課題に取り組むときは

- ① まずは、自分で考えてみる
- ② 自分一人で考えてわからないときには班の人に聴く
- ③ 聴かれた人は自分のわかるところでいいので、相手がわかるまで一緒に考える（※絶対に答えを言わない）
- ④ 聴かれるまでは教えない

班の形で話し合いをするとき

- ① 司会を決める（いろいろな人が経験できるようにする）
- ② 自分の考えを聴いてもらう
- ③ 人の考えを聴く
- ④ 他人の考えのよいところを自分に取り入れる
- ⑤ 疑問点を質問する

